

会議等記録簿

会議名	令和8年度 第1回 グループホーム・栄田運営推進会議	記録者	職員 J
日時	自 R 8年 4月 23日 14時 0分 至 R 8年 4月 23日 14時 50分	出席者	※下記参照
場所	グループホーム・栄田 1階リビング		
議題	1. 令和8年3月夜間想定避難訓練報告、2. 令和8年2月活動報告について 3. 令和8年3月活動報告について、4. 意見交換・その他		
	<p>【出席者】 ご利用者ご家族代表：A様、B様 地域住民代表：C様 諫早市代表：D様、E様 認知症対応型共同生活介護について知見を有する者：F様、職員G 職員：職員H、職員I、職員J</p> <p>〈挨拶〉</p> <p>(職員I) 本日はお忙しい中、令和8年度第1回運営推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より当事業所の運営にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。昨年度は感染症対策を継続しながらの運営となりましたが、ご利用者様の安全と安心を第一に考え、職員一同取り組んで参りました。ご家族様や地域の皆様には面会制限等においてご不便をおかけする場面もございましたが、ご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。本年度につきましては感染症対策を継続しつつも地域とのつながりをより大切に、ご利用者様が安心してその人らしく生活できる環境づくりに努めて参ります。また、サービスの質の向上や職員のスキルアップにも力を入れ、よりよい支援の提供に取り組んで参ります。</p> <p>本日の会議では3月に行いました夜間想定避難訓練報告と2月、3月の活動報告をいたします。事業所の現状や取り組みについてご報告させていただくとともに、皆様からのご意見やご助言を賜り、今後の運営に活かしていきたいと考えております。限られた時間ではございますが、どうぞ忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>1. 令和8年3月 夜間想定避難訓練報告について</p> <p>(職員I) 令和8年3月に行いました夜間想定火災避難訓練の報告となります。実施期日は令和8年3月17日(火)9:00~10:00です。内容として、夜間(0:00)の見守り時間帯において、1階洗濯室から火災が発生したとの想定のもと、火元発見職員による初期消火及び全体の避難誘導、逆信対応を想定した訓練を行いました。参加者は入居者17名、職員6名(誘導は2名、見守り4名)、消防点検業者の方1名の合計24名です。訓練の流れは、ベル発砲後、火災受信盤で火元確認。2階より応援職員が1階へ。火点を知らせ初期消火。初期消火失敗を知らせ、避難誘導を開始する。夜勤職員間で協力し、避難誘導する。避難後、各階の人員、所在、負傷者がいるか状況を確認。最後に出火階の職員が消防隊に人員数(入居者、職員)と避難完了を報告し、避難完了となる。また、避難訓練後、夜勤者に1人での搬送</p>		

方法を体験してもらっています。

訓練時の様子について写真資料を参照ください。（訓練時の写真資料を見ていただく）火災受信盤を確認し、火元がどこで発生しているか確認します。その後、消火器を持って火元の所まで夜勤者が駆けつけ2人で初期消火を行います。初期消火失敗し、火元に近い方から避難誘導しています。避難完了し、消防隊役に報告し、訓練が終了となります。訓練後は反省会を行いました。その後、2月の運営推進会議にて報告いたしました1人搬送の方法について夜勤者が実施訓練できていませんでしたので体験してもらっています。

(E 様) それぞれ運ばれたり運んだりされたのですか。

(職員 I) はい、両方体験してもらいました。それでは、総評に移ります。訓練を実施しての感想、課題についてです。今回の訓練で職員による入居者への火災発生時の呼びかけができていなかった。今回、1名空室になっているが人員確認を怠り、ネームプレートを外さなかった。入居者様が声かけに覚醒せずスムーズな誘導ができなかった。前回、昨年の訓練でですが誘導に時間がかかっていた方が今回は車いすで移動させスムーズに対応できた。これも前回昨年の訓練では出火元の扉の2重確認をしていたが今回は1回の確認で終わった為、時間のロスがなかった。逆信対応を想定した訓練であったが、逆信を取らないで入居者を優先して誘導した為、時間短縮になった。「火事だ」「初期消火失敗」等の声が出ていなかった為、入居者様が何が起きているのか不安になられていた。避難誘導者がどこで火事が発生しているのか入居者様に伝えていない。相談室の扉を閉めたら声が聞き取れない状態であった。今回の訓練、避難誘導の時間は11分41秒で前回の15分43秒より早かったです。目標の時間は11分としていました。消防点検業者の方からは、他の施設の避難訓練を見ているが今まで見た施設の中で、真剣に取り組んでいたのがよかった。今後も継続して避難訓練を実施してほしい。避難経路には物を置かないように注意してください。避難時はやることが多いので2人でできることを優先して避難させてくださいとの意見をいただきました。最後に、1人搬送を体験しての感想ですが、搬送時、後方に倒れないように注意が必要だと思った。階段は硬いコンクリートなので衝撃に気を付けながら誘導する必要があると思った。との感想でした。以上が夜間想定避難訓練報告となります。ご質問等ございませんでしょうか。

(E 様) 時間の11分というのは、その開始は自動探知機みたいなのでベルが鳴ってからですか。

(職員 I) はい、そうです。市役所職員の方や消防隊の方からも言われたのですが避難誘導は発報が鳴って大体9分と言われていました。なぜかという9分以上経つと爆発をするというふうになっております。その為、できるだけ9分以内にとされているのですがこの施設はスプリンクラーがついておりますので2分間の時間の延長ができるということで大体11分が目安だと消防隊の方からもアドバイスがあり、11分という目標設定をしています。

(職員 G) 避難経路に物を置かないように注意を受けたということですが、どの辺りにどのような物を置いていたのですか。

(職員 I) 配食を依頼しているところの箱と台車が通路の所に置かれていて避難する時にそれが邪魔になりますので、できるだけ通路の邪魔にならない適正な場所に置いた方がいいのではないかと意見でした。1階2階とも玄関の近くに置いていたので今後、置き場所を検討したいと考えております。

(職員G) それは夜間も置いてありますか。

(職員I) はい、置いています。

(職員H) 訓練で声が出ていないというところで、夜勤者は夜間に出勤するのでなかなか避難訓練に参加しにくいと思いますが、今回は久しぶりだったので声が出てなかったのでしょうか。

(職員I) 勤務後の避難訓練でしたので声が枯れてたのかなと思いました。日中想定訓練だと業務時間中にしますが夜間想定訓練は夜勤業務が終わってからの避難訓練となりますので若干疲れもあったのかなと考えております。

(職員H) 声出しをするということの認識はできていたのでしょうか。

(職員I) 認識はできていました。なかなか声が出ていなかったこととベルが鳴っていたのでその兼ね合いもあり入居者が聞き取れにくかったと思います。

(E様) 相談室の扉を閉めたら声が聞き取れないというのは、相談室の中に入っているという意味でしょうか。

(職員I) 避難誘導時に職員が離れた時に相談室の扉を閉めると声を出してもなかなか2階まで声が届かないということがあり、できれば相談室の扉は開けっ放しにした方が声が通るのではないかとの意見がありました。

(E様) わかりました。夜間なので基本的には皆さん自分の部屋にいらっしゃいますよね。

(職員I) はい、そうです。

(職員G) 相談室の扉を開けておいた方がいいと言われたのはフジオカの方からですか。

(職員I) はい。夜勤者は煙が蔓延しないようにと思って扉を閉めたようですが、連携をとるという意味では内線も使えないので扉を開けておいた方が何をしているのか離れていても連携が取れやすいのではとの意見でした。

(職員H) リビングの窓を開けましたか。(火元の)洗濯室の扉は閉めましたか。

(職員I) リビングの窓は開けてません。洗濯室は閉めてます。

(職員H) 排煙口というのがあったりしますが、リビングの窓は開けていた方が煙が外に出ていくと思います。フジオカの方は開けておいてと言われたかもしれませんがリビング窓を閉めればなしたとどうしても煙が階段を伝って2階に煙がいくのではないかと思います。

(職員I) 下から上に煙はいきますので、そこも課題として今後検討したいと思います。

(B様) 1人搬送というのは布団を使ってですか。

(職員I) はい、掛け布団を敷いた状態で引っぱります。緊急時の避難方法になります。ほか、ご質問等ございませんでしょうか。ないようでしたら議題2に移ります。

2. 令和8年2月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員I) 令和8年2月の活動報告になります。2月28日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、平均年齢はE氏、F氏が誕生日を迎えられ、平均84.4歳となりました。平均介護度はG氏が要介護1から要介護2、H氏が要介護1から要支援2に変更となり、前回平均2.9から3.0に変更となっています。

主な受診機関は記載の通りです。入院者は、A氏が2月4日より胆管結石性胆嚢炎の為、入院されて2月26日退院されています。F氏が2月28日より右大腿部鼠径部骨折の為、入院されています。職員研修等は、事業所勉強会として、認知症について行いました。在宅ケアサークル2月例会の研修に出席し、認知症を知ろう！というテーマを学びました。口腔衛生指導は義歯についてでした。

行事はE氏とF氏の誕生日会を行いました。外出では近くの公園で外気浴をしたりシャトレーゼで買い物をされています。また、期日前投票にも行っています。

その他の活動として畑で育てたキャベツやカブを使って屋食作りとして、お好み焼きとカブのそぼろ煮を作り、皆さんでおいしくいただきました。ほか、習字等を行っております。以上が2月の1階の活動報告となります。

次に2月の2階活動報告です。2月に入退居がありまして10名の記載となっています。2月28日時点では9名在籍、男性1名、女性8名です。平均年齢は前回88.3歳で今回は87.0歳でした。平均介護度は前回3.2から2.9に変更となっています。

受診状況から入院まで記載の通りです。受診機関もほぼ変わりありません。入院はありませんでした。職員の研修、行事、その他につきましては1階とほぼ同様で、行事で節分を行っています。その他としまして、G氏が2月7日に主治医より看取りの判断があり、看取り介護が開始となりました。2月14日ご逝去されています。

1階のその他の活動にて報告いたしました屋食作りは2階でも行っております。それでは、写真資料もご覧ください。春の収穫祭としてキャベツなど野菜を収穫しています。屋食作りの様子として、ホットプレートでお好み焼きを作ったり、カブの皮むきなど、いろいろな事を皆さんに協力してもらい、作って食べました。屋食時には入居者からジュースがいいと希望があり提供しました。お好み焼き作りも自分でひっくり返してもらったりすると喜ばれ、焼く時の香りも香ばしくて食欲が増えて皆さん全部食べられました。

3. 令和8年3月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員 I) 令和8年3月の活動報告になります。3月31日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、平均年齢はG氏が誕生日を迎えられ、平均84.6歳となりました。平均介護度はF氏が要介護1から要介護2に変更となり、平均3.0から3.1に変更となりました。主な受診機関は記載の通りです。入院者はA氏が3月19日より心不全の為、入院されています。F氏ですが2月に骨折にて入院されていましたが3月30日に退院されています。職員研修等は『施設での看取り』として長崎市まちなかラウンジ主催の研修が法人内のユアライフ滑石にて行われ出席しています。

口腔衛生指導は口腔環境と高齢者の全身疾患との関連について学びました。

行事はG氏の誕生日会を行いました。ほか、議題1で報告いたしました夜間想定避難訓練を実施しています。外出では諫早美術館周辺で花見を行いました。

その他として、園芸やクラフト活動を行いました。

続きまして、3月の2階活動報告です。3月31日時点で9名在籍、男性1名、女性8名、平均年齢はC氏が誕生日を迎えられ、平均87.1歳となりました。平均介護度は先月と変わりありませんでした。受診状況から入院まで記載の通りです。受診機関もほぼ変わりありません。入院はありませんでした。職員研修、行事、外出、その他につきましては1階とほぼ同様です。以上、3月の活動報告となります。

それでは、写真資料もご覧ください。外出した時のものですが、桜を見たり、ミモザの花を見たりして花見を楽しめました。その他、クラフト活動ではまだ少し早いですがこいのぼりを作られたり、花の植え替えで園芸をしたり、誕生日会の時の様子になります。以上ですが、ご意見、ご質問などありませんか。

(E 様) 1階のF氏が骨折されたということですが、事故やヒヤリハットは運営推進会議で通知はされていないですか。

- (職員 I) そうですね、していません。市役所には報告させていただいています。
この方についての報告ですが、トイレで前傾姿勢になられて立ち上がり時に
転ばれて骨折されています。
- (E 様) 市役所の方には事故報告書ということで通常いただいでいて、基準としては病院
に関わった時ということなのですが、ヒヤリハットまでは通常連絡はいただ
いでおりません。こういった場所でせっかくなので再発防止に向けて、職員間で
こういう話し合いをしましたとか、そういったところまで教えていただくと
ご家族様も安心されるのではないかと思います。
- (職員 I) はい。今回、F氏は骨折して手術されています。退院後はリハビリも兼ねて生活
されています。事故について職員間で話し合いをしまして、原因として夕食後に
薬を服用されて30分経った時にトイレに座られて、その立ち上がりが悪くて転倒
されたこと、職員の見守りが一瞬離れてしまったことが考えられました。
この方はほぼ自立の方ですが見守りの配慮が不足で転倒事故を発生させてしまっ
たと考えております。対策として、薬については主治医と相談して服薬の時間をずら
しました。その他、職員の見守りではその場を離れる時は他の職員に伝える、もし
1回離れるのであれば一旦様子を見て離れる、お互い声かけして見守りを変わっ
てもらいその場を離れることを職員間で周知しています。同じ事故が起きないように
ハード面でもトイレ内の手すりの設置を各階検討しています。
- (職員 G) 薬の時間を変えてもらうのは何に、どのようなことにいいのですか。
- (職員 I) 今まで精神安定剤と睡眠導入剤を同時服用していましたが、主治医と薬剤師に相談
したところ、同時に服用することによってふらつきが強くなる可能性がある為、
服薬時間をずらして転倒リスクを下げるようにしました。
- (C 様) トイレは部屋についているのですか。
- (職員 I) トイレは多機能トイレで広い車いすが入るトイレです。手すりがなく、見守り
ながら介助します。広いのでつかむところがなく転倒されていて手すりが必要と
考えています。他にご意見等ございませんか。
- (D 様) 今回花見に行かれたとのことですが、行ける方のみ行かれたのですか。それとも
全員行かれたのですか。
- (職員 I) 今回、行ける方のみでした。
- (D 様) 市役所から近くの所で歩きやすくはあったと思うのですが、そういったところの
状況や皆さん普通に移動できたでしょうか。
- (職員 I) はい。段差がないようなところで考えた時に、諫早市の美術館が近くで安全性が
あったので、そこを選びました。
- (D 様) 季節的な行事は大事だと思います。写真を見てもいいなと思いました。
- (A 様) 外出の時はだいたい何名を連れて何名の職員が同行されているのですか。
- (職員 I) 入居者様の状態にもよりますが、3名で職員2名の時や2名に職員2名の時もありま
す。施設内だと段差もほぼなくて歩ける方も外に行くと体力の消耗やふらつきが
あったり、環境が違いますので1名に1名ついた方がいいと思い対応しています。
他にご質問等ございませんか。
- (F 様) 男性の入居者の方がずっと1名いらっしゃいますが馴染めているのか気になって
います。
- (職員 I) 男性職員も多いので声かけしたり、この方も女性の方と話すのが好きな方なので
落ち着いて生活されています。他にご質問等ございませんか。

(C 様) 避難訓練のところでなのですが、消火器とありますが消火器以外に小さい火に使えるような消火スプレー等はないですか。

(職員 I) 今は消火器しかありません。そのような消火スプレーもあれば併用して活用できていいなと思いますので備蓄として取り入れられればと思います。ありがとうございます。他にご意見等ございませんか。ないようでしたら、令和8年度第1回運営推進会議を終了いたします。次回のご案内です。令和8年6月25日(木)14時から予定しておりますのでよろしくお願いいたします。本日は出席いただきありがとうございました。